

■第7回協議会のグループ別協議の整理

議題:モノレールの導入を見据えたまちづくりについて

※任意の2つのグループ編成から、各委員意見を模造紙に集約し、協議から見出しをつけ整理しています。

■Aグループ

■テーマ性の高い集客施設を先導的に誘致!

●子どもを対象とした誘客施設

- ・職業体験施設等

●レジャー施設

- ・江戸のまち!(テーマ)、古民家の活用

●住む人、訪れる人を増やす

- ・先行的な整備を進め、武蔵村山は良いところだという印象づけを

●施設誘致の課題

- ・道路により通りの南北の分断(商業、コミュニティ)
- ・立川(ラポート)と競合するので商業での対抗は厳しいのでは?

■農地の有効利用

- ・生産緑地、指定すれば開発ができない
- ・土地活用も税金の問題がある

■核は広がりのあるまちづくりを!

- ・都市核・サブ核は広がりのあるまちづくりを!

■魅力の発信・PR

- ・魅力資源のPR(かたくりの湯等)、里山の魅力のPR、眺望を活かす
- ・自転車まちづくり



■Bグループ

～先行して下記の対応策を進めておくことが重要!!～

■土地の有効活用による良好なまちなみをつくる

●規制・ルールによるまちなみ誘導

- ・敷地規模、高さなどの規制・誘導によるまちなみ形成(都市核は200㎡以上の敷地規模)
- ・区画整理事業による土地の有効活用

■都市核・サブ核の駅周辺まちづくり

●都市核の駅前ロータリーの形成→区画整理事業による活用

- ・路線バス、コミュニティバス、一時駐停車スペース、駐輪場、緊急車輛等の利用等

●サブ核の駅周辺の用地確保と有効活用については十分な検討が必要!

- ・利用度を考慮したムダにならない最低限の用地を確保する(あるにこしたことはないけれど・・・)

●コミュニティバスの導入と駐輪場整備は必須!

- ・コミュニティバスの再編(各駅で需要が異なる(高齢化等への対応等))
- ・あらかじめ用地を確保しておき、余ったらポケットパーク等に活用!?

■駅周辺のにぎわい創出

●容積率・高度空間の有効活用

- ・駅前ビルの有効活用(1階一店舗、中層階一便利施設、～上階一般住居)

●駅前ビルへの便利施設の誘致

- ・コミュニティスペースの確保、少子高齢化への対応(駅前保育、高齢者サービス施設等)、公共サービス機能の導入、出張診療所の開設(民間医療施設の持ち回りによる終日開業、医療相談等)など

●良好な環境を活かした大学学部の誘致

- ・課題→駅周辺居住者の需要は!? 武蔵村山市に最低限できることは!? (財源確保が課題)

■各駅への先行的な駐輪場の確保!

- ・駐輪場の形態は(フラット、地下タワー式、立体式等)→土地の有効活用から先行的な検討が必要

■駅利便設備は沿道両側に設置!

- ・エレベーター、駅階段、駐輪場等は新青梅街道沿道南北(両側)に設置する

■モノレールからの視点を考慮した良好なまちなみの誘導

●先行した「条例」等による沿道の配慮事項をつくる

- ・モノレールの高さ視点→景観やみられるまちなみ、暮らしへの配慮(スモークガラスの窓設置等)

■良好なまちなみ形成に向けたミニ開発等への対応

- ・開発事業者(大規模)への先行した土地(ポケットパークの用地)提供の「条例」の検討

